

令和5年度（2023年度） 英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目名	単位数	年次	スクーリング回数	レポート回数	履修
英語コミュニケーションⅠ	前期2 後期2	1年次	前・後期とも8回	前・後期とも6回	必履修

1 (外国語)科の目標

言語の学習を通し、異文化に対する理解を深めるとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

相手の意向を理解したり、自分の考えなどを表現したりするコミュニケーション能力を養う。

簡単な英語の情報を理解する力を育てる。

2 (英語コミュニケーションⅠ)の目標

① 日常的な話題について英語で理解し、情報や考えなどを英語で伝える基礎的な能力を養う。

② 積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3 (英語コミュニケーションⅠ)の概要

中学英語からの円滑な移行を図りつつ、英語の4技能の基礎的な能力を養う。

自然や人間への愛、未来を切り開く勇気や希望をテーマに現代社会が直面する環境・文化・医療などの問題について主体的に考える力を養う。

4 到達目標

① 簡単な英文を理解し、音読することができる。

② 簡単な英文を使い自分のことについて話したり、書いたりすることができる。

③ 身の回りの話題について情報を伝達したり、自分の考えを発表しようとする姿勢がある。

④ 英文の基本的構造が理解できる。

⑤ 新出語句を含む200語の定着。

5 評価の観点

① 言語活動への取り組み状況を観察する。（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

② 本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストする。（知識・技能、主体的に学習に取り組む態度）

③ Lesson に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているかを筆記テストする。（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

④ 上記課題の内容や提出状況。（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

6 使用教材

① 教科書名（会社名）：All Aboard! English Communication I 東京書籍

② 教材：All Aboard! English Communication I 学習書 東京書籍

7 履修上の注意 必履修

8. 成績評価の方法 定期考査、レポート、スクーリングへの出席、授業態度を総合評価する。

令和5年度 英語コミュニケーションⅡ（2年）シラバス

科目名	単位数	スクーリング回数	レポート回数	履修
英語コミュニケーションⅡ	後期1	4回	3回	選択

1 英語科の目標

英語の基礎的な知識を養うとともに、英語を理解し、英語に親しむ態度を育てる

2 科目の目標

英語Ⅰの学習内容を踏まえ、さらに本文内容の理解や文法事項、表現などを学習し、理解を深める。

3 科目の概要

「英語Ⅰ」学習の基礎の上にたって、「日常的な話題」を「幅広い話題」に発展させつつ、「基礎的な能力」を更に伸ばす。

4 到達目標

- (1) 日常的な場面（初対面のあいさつ、学校生活、趣味・関心事、食事、体調）における基本的な会話表現を学び、自らコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- (2) 英語でのコミュニケーションを通して、外国の文化や社会について理解を深め、さらに自国の文化などについてのさらなる関心をもてるようにする。
- (3) 幅広い話題について、言語の使用場面と働きを有機的に組み合わせてコミュニケーション活動を行うことができるようにする。

5 評価の観点

- ①英語を聞いて情報や話し手の意向などを理解して、概要や要点を捉えることができる。
- ②英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解して、概要や要点を捉えることができる。
- ③聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。
- ④聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書くことができる。

6 使用教材

- (1) 教科書：All Aboard! English Communication II（東京書籍）、学習書
- (2) その他：オリジナルハンドアウト

7 履修上の注意

英語コミュニケーションⅡ：選択

2023年度 コミュニケーション英語Ⅱ（3年）シラバス

科目名	単位数	スクーリング回数	レポート数	履修
コミュニケーション英語Ⅱ（3年）	前期1単位 後期2単位	前期4回 後期8回	前期3 後期6	選択科目

1. 英語科の目標

英語の基礎的な知識を養うとともに、英語を理解し、英語に親しむ態度を育てる。

2. 科目の目標

「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ（2年次）」の学習内容を踏まえ、さらに本文内容の理解や文法事項、表現などを学習し、理解を深める。

3. 科目の概要

「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ（2年次）」の学習の基礎の上に立って、「日常的话题」を「幅広い話題」に発展させつつ、「基礎的な能力」を更に伸ばす。

4. 到達目標

幅広い話題について、言語の使用場面と働きを有機的に組み合わせてコミュニケーション活動を行うことができるようにする。

5. 評価の観点

- ① 英語を聞いて情報や話し手の意向などを理解して、概要や要点を捉えることができる。
- ② 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解して、概要や要点を捉えることができる。
- ③ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。
- ④ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書くことができる。

6. 使用教材

- ①教科書：All Aboard! Communication English II （東京書籍）
- ②副教材：All Aboard! Communication English II 学習書（日本放送出版協会）
- ③その他：スクーリング時に配布するプリント教材

7. 履修上の注意

「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ（2年次）」を履修した後に選択履修するほうが望ましい。

8. 成績評価の方法

定期考査、レポート、スクーリングへの出席、授業態度を総合的に評価する。

9. 年間指導計画

学期	面接回数	面接日	単元	学習内容		評価の観点
				面接指導 (スクーリング)	レポート 締切日	
前期	1	4/17 4/18	Lesson 4	The Spirit of the Forest (ヤマネー森の精霊)	4/27	<ul style="list-style-type: none"> 人と自然の共存について考える 間接疑問文を理解している
	2	4/24 4/25	Lesson 5	Girl with a Pearl Earring (真珠の耳飾りの少女)	5/8	<ul style="list-style-type: none"> 芸術作品の印象について表現する 名詞を後ろから説明する分詞を理解している
	3	6/12 6/13	Lesson 6	Grandchildren's Restaurant (まごの店)	6/22	<ul style="list-style-type: none"> 将来について考える 不定詞を含む表現を理解している
	4	7/3 7/4	前期の復習	前期考査に向けて		<ul style="list-style-type: none"> 試験に向けての努力
後期	1	10/2 10/3	Lesson 7	A Microcosm in the Sea (海の中の小宇宙)	10/13	<ul style="list-style-type: none"> 環境保護について考えてみる 動詞の目的語になる if 節を理解している
	2	10/9 10/10	Lesson 8	Wings of Music (音楽の翼で世界へはばたく)	10/19	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢について考える 補足説明する関係代名詞 who, which を理解している
	3	10/16 10/17	Lesson 9	Magic of the Cotswolds (コッツウォルズの魔法)	10/26	<ul style="list-style-type: none"> 異文化のライフスタイルについて学ぶ 関係副詞 (where, when) を理解している
	4	10/23 10/24	Lesson 10	Bunraku (文楽)	11/2	<ul style="list-style-type: none"> 日本の文化を異なる視点から見る 知覚動詞を理解している
	5	11/13 11/14	Lesson 11	Bitter Truth about Chocolate (甘いチョコレートの苦い現実)	11/24	<ul style="list-style-type: none"> 世界の貧困の現状に目を向け、解決策について知る 使役動詞(make)を理解している
	6	11/20 11/21	Lesson 12	Hayabusa's Present from Space (はやぶさからの贈り物)	11/30	<ul style="list-style-type: none"> はやぶさのエピソードから、あきらめない心の大切さを学ぶ 分詞構文を理解している
	7	11/27 11/28	後期の復習	考査に向けて①		<ul style="list-style-type: none"> 試験に向けての努力
	8	12/4 12/5	後期の復習	考査に向けて②		<ul style="list-style-type: none"> 試験に向けての努力

令和5年度（2023年度） 論理・表現Ⅰ シラバス

科目名	単位数	年次	スクーリング回数	レポート回数	履修
論理・表現Ⅰ	前期2	2年次	8回	6回	選択

1 英語科の目標

英語の基礎的な知識を養うとともに、英語を理解し、英語に親しむ態度を育てる

2（論理・表現Ⅰ）の目標

- ① 日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりし、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養う。
- ② コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

3（論理・表現Ⅰ）の概要

中学英語の学習を踏まえ、その基礎の上に相手の意向を理解し日常的・社会的な場面を通して、基礎的英語表現を学んでいきます。

4 到達目標

- ① 日常的な場面（初めての食事、人物紹介、学校生活、趣味・関心事、体調）における基本的な会話表現を学び、自らコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ② 英語でのコミュニケーションを通して、外国の文化や社会について理解を深め、さらに自国の文化などについてのさらなる関心をもてるようにする。
- ③ 幅広い話題について、言語の使用場面と働きを有機的に組み合わせコミュニケーション活動を行うことができるようにする。

5 評価の観点

- ① 言語活動への取り組み状況を観察する。（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ② 本文の内容（対話・スピーチ）を読んだり、聞いたりしたことを理解しているかを筆記テストする。（知識・技能、主体的に学習に取り組む態度）
- ③ Lesson に用いられる語句や表現が理解しているか、また学習した表現を場面に応じて伝えようとしているかを筆記テストする。（知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
- ④ 上記課題の内容や提出状況。（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）

6 使用教材

- ① 教科書名（会社名）：NEW FAVORITE English Logic and Expression I 東京書籍
- ② オリジナルハンドアウト

7 履修上の注意 論理・表現Ⅰ：選択科目

8. 成績評価の方法 定期考査、レポート、スクーリングへの出席、授業態度を総合評価する。